

静岡県勤労者協議会連合会

ホームページ <http://kinrokyo.net/shizuoka/>
Eメールアドレス shizuoka@kinrokyo.net

第60回県政懇談会(意見交換会)開催

介護保険の見直し＝負担増となる内容について

県政懇談会で「反対の声」を静岡県から国へ要請を

静岡県と静岡県勤労者協議会連合会による意見交換会(県政懇談会)が、3月9日14時30分より静岡県庁別館8階第1会議室に於いて開催、静岡県勤労協からは11名が参加しました。

県勤労協は県政懇談会に関しては『コロナ禍を考慮して会長＋事務局対応』としてきましたが、県当局との事前調整の結果、参加者を幹事会＋事務局の10名へと参加人数を拡大して臨むことができました。

各地区勤労協の代表者が県政懇談会へ参加できたことは、今後の活動に明るい兆しが見えてきました。今回の県政懇談会の要望内容は『介護保険制度の改正に向けた取り組み』と『地球温暖化対策、環境問題』の2件を取り上げました。



県政懇談会の冒頭、県勤労協の堀内武治会長は「静岡県でも少子高齢化が進んでいます。その結果、「介護の2025年問題や地域包括ケアシステムの充実」は県民が安全・安心に暮らせる為の重要課題です。

同時に、「地球温暖化対策、環境問題」についても重要案件となっています。その為にも、上記2件に関する静岡県としての取り組み状況を説明してほしい。と、挨拶をしました。

介護保険制度の改正に向けた取り組みについて

続いて、県勤労協から「介護保険制度に関する要望書」に対する趣旨説明について以下の内容を主張してきました。

厚生労働省は昨年10月31日、介護保険制度の見直しを巡る論点を「社会保障審議会(厚労相の諮問機関)の部会」に示し、本格的な議論が始まりました。

上記の結果、昨年の11月段階では『介護保険制度の3年に1度の見直し』で、厚生労働省の社会保障審議会が「要介護者1.2の訪問・通所介護を介護保険制度の給付から外し、市町村の事業への移管を検討している」ことについて、介護関係者や識者から多くの批判が続出てきました。その理由は、専門知識のない人の介護で、利用者の状態悪化につながる恐れがあることや、自治体側の受け入れ体制が整っていないことが大きな要因でした。

介護保険料の見直し、今年の夏まで先送り

昨年の12月19日、2024年度の介護保険制度の改正に向けて、厚生労働省の『専門部会』は所得の高い高齢者の保険料や自己負担の引き上げなどについて「来年（2023年）の夏までに結論を得る」として、先送りする方針を示しました。

その一方、当初、検討していた『介護内容の計画などを立てるケアプランの有料化については2024年度の改正には盛り込まない』ことを決定しました。

今回、私たち静岡県勤労者協議は「介護保険料の見直し＝利用者の負担増につながるし、要介護者1.2の訪問・通所介護を介護保険制度の給付から外す」ことは、①サービスの質が低下し利用者の重度化が進む恐れがあること。②地域の多様な受け皿整備は進んでいないこと。③介護事業者の経営不振や撤退の恐れ、等があることから、

国に要望事項として提出している内容を、『反対の声』を静岡県から是非とも発信をして頂きたい。一と、強く主張してきました。



県は「全国知事会」での討議を踏まえて対応を

しかし、静岡県当局からの回答は「全国知事会での討議を踏まえて対応を検討していきたい。介護保険の国庫負担分の拡充に関しては、地方の財政負担もあるので拡充に努力をしている」という内容でした。

県勤労協は、「要介護者1.2の訪問・通所介護を介護保険制度の給付から除外される」と、事業者側も『採算が成り立たず撤退する事も予想される。要介護1.2にお金をかけて要介護3以上を増やさないと介護費用の抑制につながる』ので、是非とも再検討をしてほしい。一と、強く要請してきました。

県地球温暖化対策、環境問題について



COP27（国連気候変動枠組み条約締結国会議）が2022年11月エジプトにおいて開催されました。現在、世界各地で異常気象現象が発生し、大型ハリケーン・記録的集中豪雨・大干ばつが発生、沿岸部の海水浸食による国土の喪失など、多くの国民の犠牲や家屋などが流失しています。この現象は「地球温暖化による異常気象」と言われています。

地球温暖化を阻止するため、世界共通の対策としてカーボンニュートラルを推進し、長期目標として地球の気温上昇を1.5度押さえ込む努力として、すべての国がCO2削減目標を5年毎に提出、更新することを確認しCO2削減に取り組んでいます。

国として主要な取り組みはあるが、地方自治体、県民のCO2削減意識の高揚も重要です。静岡県としての取り組みについてお伺いします。

- ①静岡県としての脱炭素社会への実現に向けた取り組みについてお伺いします。
- ②再生可能エネルギーの転換、普及についての取り組みについてお伺いします。
- ③県民に対する脱炭素社会への啓蒙、具体的な取り組みについてお伺いします。

- ④企業などへ脱炭素エネルギー対策の指導についてお伺いします。
 ⑤マイカー利用社会からマイカーに頼らない公共交通機関への移行のための支援が必要と思われるが、その施策転換についての考えをお伺いします。

県勤労協は上記の要望書の趣旨説明を行い、県当局に回答を求めました。その結果、下記の回答が示されました。

温室効果ガスの削減目標(2030年度)

2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46.6%削減することとし、更なる高みを目指します。

(1)目標の設定

2050年脱炭素社会の実現という将来像から、それを実現するための道筋を作るバックカasting型アプローチにより、2030年度に達成しておくべき道標として、温室効果ガス排出量2013年度比46.6%の削減を目標とします。

この高い目標を達成するためには、今後約10年間の先導的な取り組みが非常に重要であることから、県では、46%削減を掲げる国の地球温暖化対策計画の着実な推進に寄与するだけでなく、地域としてできる独自の対策を計画に掲げ、市町、事業者、県民等の各主体と連携して率先して取り組むことで、2030年度の46.6%削減の達成とともに、更なる高みを目指します。

具体的には、『温暖化防止のための県民運動・ふじのくにCOOLチャレンジ クルポ』という温暖化対策アプリを立ち上げました。

クルポ詳細はこちらへ <https://f-cc.net/cool-po/#DL>

(2)再生可能エネルギー導入目標

2030年度までに再生可能エネルギーの導入量を84.7万KIにします。2019年度49.7万→2030年度1.7倍の84.7万。太陽光発電を中心に、多様な地域資源を活かした小水力、バイオマス発電など、再生可能エネルギーの最大限の導入拡大を図ります(ふじのくにエネルギー総合戦略)。中小企業に対しては「企業脱炭素化支援センター」を通じた取り組み、専門家の派遣などに取り組んでいきます。(企業脱炭素化支援センター http://www.ric-shizuoka.or.jp/carbon_neutral/)



自然環境破壊は絶対に認めない

県の指導強化を求める

県勤労協は県側の取り組みには、一定の評価を示しました。しかし、一部地域では「自然破壊とも言える乱開発が横行している事実もあり、地域の開発は市だけに任せるのではなく県としての指導強化を強く求める」と、主張してきました。

なお、県勤労協は「今後も安心・安全な街作り」を進めていく為には、県との意見交換が重要だ」と、主張してきました。



被災69周年3・1ビキニデー全国集会開催

1954年(昭29)3月1日南太平洋ビキニ環礁にて、アメリカによる水爆実験が実施されました。周辺海域でマグロ遠洋漁業を操業していた多くの漁船が放射能汚染の被害を受けました。

焼津港所属の第5福竜丸は被爆した状況で焼津港に戻り、始めて放射能汚染と知りました。乗組員全員が放射能に汚染されましたが、久保山愛吉さん(40歳)は9月に原爆症でなくなりました。久保山愛吉さんは亡くなる前に「原水爆で亡くなるのは私を最後にしてほしい」と訴えました。

日本の原水爆禁止運動は、原爆投下による広島・長崎の原爆被害と第5福竜丸のビキニ事件と続き、多くの犠牲の中で原水爆禁止運動を盛り上げて、核廃絶を訴え核の非人道性を明らかにし、今日まで運動を展開してきました。この運動が世界に広がり国連において2019年「核兵器禁止条約」が採択され、50ヶ国以上の批准を受けて2021年1月22日、国連の条約として発効しました。

しかし、日本政府は米国の傘に守られているとして、核兵器禁止条約の批准をしていません。また、今国会に軍事費の倍増を目指すとして、敵基地攻撃能力の確保、敵基地先制攻撃が可能とする方針を示しています。新たなミサイルトマホーク400基の購入も明らかにしました。

被災69周年3・1ビキニデー全国集会は、世界の人々と連帯し核兵器も戦争もない世界の平和に向けて取り組んでいくことを確認しました。この集会に高校生平和大使の3名も参加し若者からも核兵器禁止条約の声を広めていく決意が報告されました。3月2日には久保山愛吉さんの墓前祭も開催してきました。



2023.3.1ビキニデー全国集会会場



高校生平和大使の運動への力強いあいさつ



2023.3.2久保山愛吉さんの墓前祭



久保山愛吉さんの墓碑

(文責 橋本勝六)

2023浜岡原発再稼働阻止・脱原発社会実現

3.11 さようなら原発1000万人アクション静岡集会開催

チェルノブイリから37年 福島原発事故から12年 フクシマを忘れない！



東日本大震災は2011年3月11日発生、地震により大津波の襲来と地震による鉄塔の倒壊などにより停電したことから、東京電力福島第1原発1号機～4号機まで原子炉の冷却機能が喪失し、1号機～3号機は原子炉燃料が溶融・メルトダウン・水素爆発が発生、膨大な放射能汚染が放出されました。住民避難が強制され市町村が破壊されて12年が経過しました。

この間、避難した住民の生活が破壊され、放射能汚染された土地の除染作業にも拘らず避難生活者は3万人を超えています。原子炉冷却汚染水はたまり続けています。原発事故による被害と復旧には21兆円を超

えるといわれています。福島第1原発事故は終息していません。

岸田政権はこうした状況にもかかわらず、原発再稼働を強引に進めていくことや原発の運転期間60年を超える政策を閣議決定し押し進めようとしています。

静岡県には浜岡原発があり、東南海地震の真上に設置された最も危険な原発であり、30km圏内90万人の避難計画も困難であり、再稼働などは認められません。原発に依存しない再生可能エネルギーへの転換を強力に進めるべきです。

3.11 さようなら原発集会は全国で開催され、集会と静岡市内デモ行進で市民に訴えてきました。また、3月10日には静岡県知事と中部電力静岡支社に対して原発再稼働を中止する要請書を原水禁静岡県民会議、県平和国民運動センター、県勤労協連合会の連名で提出してきました。(文責 橋本勝六)



戦争をさせない1000人委員会 3・19行動



3月19日(日)13時30分より、静岡駅北口地下広場はじめ静岡市内で、「3・19 街頭宣伝・デモ行進」を開催しました。

昨年12月①敵基地攻撃能力の保有②5年間43兆円規模の軍事費支出③軍事費財源確保のための増税を謳った「安保関連3文書」改訂が閣議決定されました。これは、憲法にも国際法にも反する先

制攻撃を日本が行うことができるという内容を含み、現在の世界情勢のなかで日本が戦争に近づいたという危険性を高めます。国家予算も今以上に軍事費に重点が置かれることも見込まれるでしょう。この重要かつ危険な案件が国民不在で決定され、負担のみを国民が背負うということになります。私たちは、断固、反対の声を挙げなくてはなりません。



2023年統一自治体選挙 静岡県議会選挙にリベラル候補の必勝を！！

3月31日告示、4月9日投票で施行される統一自治体選挙・静岡県議会選挙が施行となります。県議会は圧倒的多数を自民党県議が握っていますが、旧統一教会との係わりによる政治介入、防衛費の大幅アップによる敵基地攻撃能力やミサイルトマホークの400基購入、原発依存政策など安全保障政策の大転換が行われようとしています。

今こそ、地方自治から自民党政治に県民の反撃を示す選挙戦にしていくことが重要と考えています。県内のリベラル候補の躍進を期待し、県勤労協連合会もしっかり取り組んでいくこととします。

静岡県議会リベラル候補は下記の通りです

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ☆廣田 直美 函南町 現職 | ☆曳田 卓 沼津市 現職 |
| ☆伴 卓 富士市 現職 | ☆四本 康久 富士宮市 現職 |
| ☆中山 真珠 静岡市清水区 新人 | ☆松井ゆうすけ 静岡市清水区 新人 |
| ☆杉山 あつし 静岡市駿河区 現職 | ☆小長井よしお 静岡足葵区 現職 |
| ☆佐野 愛子 藤枝市 現職 | ☆伊藤 和子 袋井市 現職 |
| ☆沢田 智文 磐田市 現職 | ☆田中 照彦 浜松市中区 新人 |
| ☆鈴木 唯記子 浜松市中区 新人 | ☆丸山 洵 浜松市東区 新人 |
| ☆田口 章 浜松市西区 現職 | ☆良知 駿一 浜松市北区 現職 |
| ☆阿部 卓也 浜松市北区 現職 | ☆田内 浩之 湖西市 現職 |

皆さんの応援よろしくお願ひします 静岡県勤労協連合会

○立候補者からのメッセージ

杉山あつし(立憲民主党)◆静岡市駿河区

10月31日ハロウィンの日が誕生日で60歳、還暦となりました。「本当に困っている人の声を政治の場に届けたい」「労働者にもっとやさしい社会をつくりたい」「こどもが将来にわたって平和で安全な社会をつくりたい」との思いで、県議会議員に当選し3年9月、全力で行動してきました。静岡県職員時代に20年以上福祉職場(児童福祉、障害者福祉)の在籍・経験が私の活動の原点です。前回の選挙では勤労協の先輩の方々に支援していただきました。4月にはいよいよ2期目に挑戦する予定です。協力ください。



小長井由雄(ふじのくに県民クラブ)◆静岡市葵区

だれも置き去りにしない持続可能な社会をつかっていくためには、経済・社会・環境・文化など様々な面において、未来世代に不利益を残さないという視点を持つことが必要です。県が事業を実施するにあたっては、現役世代のニーズだけでなく、未来世代にも十分配慮した意思決定を行うことが重要です。子どもたちに小さくなっていく未来を残してはなりません。私は、子どもたちの未来を拓く人になるという覚悟と勇気をもって県政に挑戦します。



各地区活動報告

☆清水地域勤労協

学習会「静岡市(清水)の将来展望と街づくり計画」



清水地域勤労者協議会は3月7日、午後6時より「清水おしば会館」で学習会を開催しました。同学習会には25名の仲間が参加して頂きました。今回の学習会の目的は、本年が統一自治体選挙で「静岡市長選挙」及び「静岡県議会議員選挙」が4月9日投票日で実施されます。

旧清水市は静岡市と合併して『清水区』となり20年が経過しました。この間、清水区は企業の転出や地場産業の衰退など人口減少も著しく、清水区民にとって合併効果は感じられていません。今回の静岡市長選挙に立候補予定の「難波喬司氏」(前静岡県副知事)に清水区の再生の構想を聞く機会を設定しました。

清水は港を活用して、新しい再生の道へ 新技術を導入した「国際海洋文化都市」を

講師の難波喬司氏は、『第4次静岡市総合計画』の参照しながら、「静岡市の人口減少の危機感を深く感じている」として、下記の実情を説明しました。

国全体で人口減少・少子高齢化が進む中、静岡市の人口は1990年をピークに減少に転じ、2020年の国勢調査では70万人を下回りました。国立社会保障・人口問題研究所2018年に公表した推計では、2030年の人口はやよそ64万6,000人となる見込みであり、今後も中長期的な人口減少は避けられないと想定されます。(第4次静岡市総合計画より)

国際拠点港湾である清水港は、国内有数のコンテナ取扱量や、クルーズ船入港隻数といった高い機能を有する物流・人流のゲートウェイであり、その周辺には大学・研究機関に加え、世界文化遺産の構成資産である『三保の松原』などの観光資源が存在しています。こうした高いポテンシャルを活かしながら、「みなと」と「まち」が一体となり、環境と経済が調和した街づくりを進めることが必要です。そこで、清水港周辺エリアにおける賑わい創出の核となる拠点の整備や、清水港の魅力を国内外への発信を通じた多くの来訪者の誘導に取り組みます。

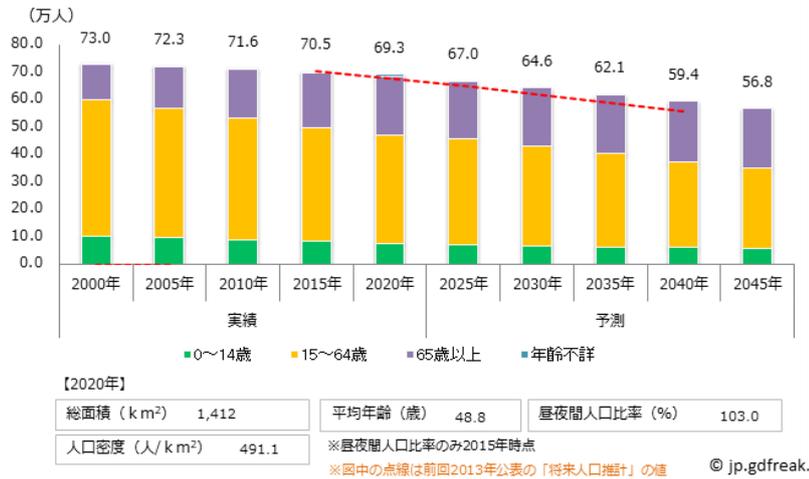
さらに、清水港・駿河湾の特徴と環境を活かしながら、脱炭素社会などの高い付加価値を生み出す産業の振興や戦略的なMICE誘致を推進するとともに、産学官などの多様な主体の連携による、海洋に係わる人材の育成などに取り組みます。

清水区役所の移転は今後の検討課題「清水が世界に誇れる」新世代の水族館に

難波喬司氏は、『第4次静岡市総合計画』に関して「清水区民の声や現場からの補強意見」を取り入れながら市政運営を進めていくことが重要」との立場を示しました。

この間、桜ヶ丘病院の移転に伴い『清水区役所の移転問題』が大きな課題となっていました。『今後の検討課題として重視する』との見解を示しました。更に、採算性で疑問視されている水族館と博物館の複合施設「海洋・地球総合ミュージアム」については、「従前に計画を補強・見直しを含めて検討する」、「清水が世界に誇れる新世代の水族館にしなければ意味がない」との見解を明らかにしました。(通信員 秋山一)

静岡市の人口推移



ご注意ください!

**「全労済に委託されている」
（こくみん共済 coop）
とかたる業者の訪問が
報告されています。**

※「共済金で代金は全額支払われる」「共済金の請求を代行する」などと言って修理の勧誘を受けた場合は、その場で契約などに応じず、当会にご相談ください。

こくみん共済 coop(全労済)では、ご契約者さまからのご一報を受けないまま、電話で訪問日時などをご連絡したり、外部に委託して調査を行うことはありません。

こくみん共済 NEWS
こくみん共済(全労済)
静岡推進本部
(静岡県労働者共済生活協同組合)

**つもる話は
アフター
ファイブに。**

**はずむ話は
デイ
タイムに。**

働く人に便利な2つの「相談会」。

水曜よりみち相談会
17:00~19:00
毎週水曜日 夕方 予約優先!
県内(ろうきん)の全営業店で開催中!

日曜のんびり相談会
9:00~12:00 13:00~16:00
毎週日曜日 予約制
県内(ろうきん)のローンセンターで開催中!

週末はご家族で。3ローンセンターでは土曜日も相談OK。
お客さまの声にお応えして土曜日も相談会を開催。
土曜日開催店
◎浜松中央ローンセンター
◎静岡中央ローンセンター
◎富士ローンセンター

「ろうきん」が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの「ろうきん」へ。

お近くの(ろうきん)はこちらから!
スマホにもアクセス!
いつでもあなたの目線で。
静岡ろうきん

お問合せ・ご予約は
ど问你de ろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123
インターネットホームページ
https://shizuoka.rokin.or.jp